

第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価について

【 総 括 】

平成 28 年度～令和 3 年度を計画期間とする第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画について、6 年間の取組結果の検証を行った。

(1) 目標達成率の状況

前期基本計画では、基本構想に掲げる 7 つの「まちづくりの大綱」に基づく『部門別計画』と、地域の個性を活かしたまちづくりを目指す『地域別計画』、そして『開かれた行政運営の推進』の大きく 3 つの計画の中で各目標を設定した。

それらの各目標において設定された目標値に、実績値がどれくらい近づいたかを示す【表 1】では、100%以上の達成率となった項目が評価対象全 144 項目中 55 項目（38.2%）となった。

また、計画別に見ると、100%以上達成された目標は、『部門別計画』では全 115 項目中 43 項目（37.4%）、『地域（自治区）別計画』では全 27 項目中 10 項目（37.0%）、『開かれた行財政運営の推進』では全 2 項目中 2 項目（100%）であった。

【表 1】目標達成率の状況（実績値における目標値までの到達割合）

	項目数	達成状況					
		100%以上	75%～ 100%未満	50%～ 75%未満	25%～ 50%未満	0%～ 25%未満	0%未満
部門別計画	115	43 (37.4%)	13 (11.3%)	12 (10.4%)	7 (6.1%)	10 (8.7%)	30 (26.1%)
Ⅰ 産業経済部門	26	7 (26.9%)	4 (15.4%)	3 (11.5%)	2 (7.7%)	2 (7.7%)	8 (30.8%)
Ⅱ 健康福祉部門	19	11 (57.9%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)	1 (5.3%)	3 (15.7%)
Ⅲ 教育文化部門	21	6 (28.6%)	3 (14.3%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (9.4%)	9 (42.9%)
Ⅳ 環境部門	6	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.2%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)
Ⅴ 生活基盤部門	21	10 (47.6%)	1 (4.8%)	4 (19.0%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)
Ⅵ 防災・防犯・消防部門	9	2 (22.2%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (33.4%)
Ⅶ 地域振興部門	13	6 (46.2%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	2 (15.3%)	3 (23.1%)
地域（自治区）別計画	27	10 (37.0%)	3 (11.1%)	5 (18.6%)	1 (3.7%)	3 (11.1%)	5 (18.5%)
1 浜田地域（自治区）	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 金城地域（自治区）	5	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
3 旭地域（自治区）	5	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
4 弥栄地域（自治区）	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	2 (28.5%)
5 三隅地域（自治区）	8	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)
開かれた行財政運営の推進	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合 計	144	55 (38.2%)	16 (11.1%)	17 (11.8%)	8 (5.6%)	13 (9.0%)	35 (24.3%)

(2) 進捗評価の状況

目標達成に向けて計画どおりに進んでいるかどうかを示す【表2】では、6年間の取組成果として、計画どおり又はそれ以上の成果があったA評価の項目が、評価対象全144項目中60項目（41.7%）となった。

また、計画別に見ると、A評価の目標項目は、『部門別計画』では全115項目中46項目（40.0%）、『地域（自治区）別計画』では全27項目中12項目（44.5%）、『開かれた行財政運営の推進』では全2項目中2項目（100%）であった。

これらの項目の中には、新型コロナウイルス感染拡大以前の4年間に目標達成に向けて順調に進んでいた項目や、「ヒラメ稚魚育成尾数の増加」「携帯電話不感地域の解消」などのように感染拡大の影響をあまり受けなかったもの、あるいは「ふるさと郷育ネットワーク団体数の増加」「U・Iターン相談件数の増加」のように新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも対策を図り、目標を達成できた項目などがあった。

【表2】進捗評価の状況（目標達成に向け6年間の取組が計画どおりかどうかを評価）

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
部門別計画	115	46 (40.0%)	43 (37.4%)	20 (17.4%)	6 (5.2%)	0 (0.0%)
I 産業経済部門	26	7 (26.9%)	11 (42.4%)	7 (26.9%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)
II 健康福祉部門	19	11 (57.9%)	5 (26.3%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
III 教育文化部門	21	6 (28.6%)	10 (47.6%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
IV 環境部門	6	1 (16.7%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)
V 生活基盤部門	21	12 (57.2%)	4 (19.0%)	4 (19.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)
VI 防災・防犯・消防部門	9	2 (22.2%)	4 (44.4%)	1 (11.2%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)
VII 地域振興部門	13	7 (53.8%)	6 (46.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
地域（自治区）別計画	27	12 (44.5%)	6 (22.2%)	5 (18.5%)	4 (14.8%)	0 (0.0%)
1 浜田地域(自治区)	2	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 金城地域(自治区)	5	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3 旭地域(自治区)	5	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
4 弥栄地域(自治区)	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.5%)	0 (0.0%)
5 三隅地域(自治区)	8	3 (37.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
開かれた行財政運営の推進	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合 計	144	60 (41.7%)	49 (34.0%)	25 (17.4%)	10 (6.9%)	0 (0.0%)

《評価概要》

「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果があった

「B」 計画を少し下回る成果があった

「C」 計画の半分程度の成果となった

「D」 計画を大きく下回る結果となった

「E」 ほとんど成果がなかった

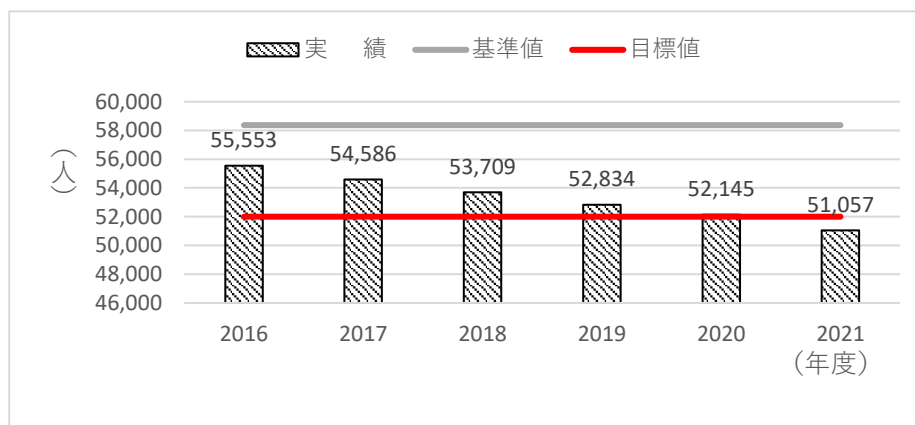
(3) 基本指標

基本指標	現 状 (基本構想策定時)	令和 7 (2025) 年度 (目標・推計値)
人 口 (国勢調査)	平成 27 (2015) 年推計値 58,367 人	52,000 人
出生数 (住民基本台帳)	平成 26 (2014) 年度実績値 年間 442 人	年間 400 人
社会増減数 (住民基本台帳)	平成 26 (2014) 年度実績値 年間 ▲319 人	年間 ▲200 人

基本構想に掲げる「人口」・「出生数」・「社会増減数」の 3 つの基本指標については、令和 3 年度末現在、人口 51,057 人、出生数 302 人、社会増減数▲458 人となった。

◆ 人口 (目標値 : 52,000 人【2025 年度目標値】)

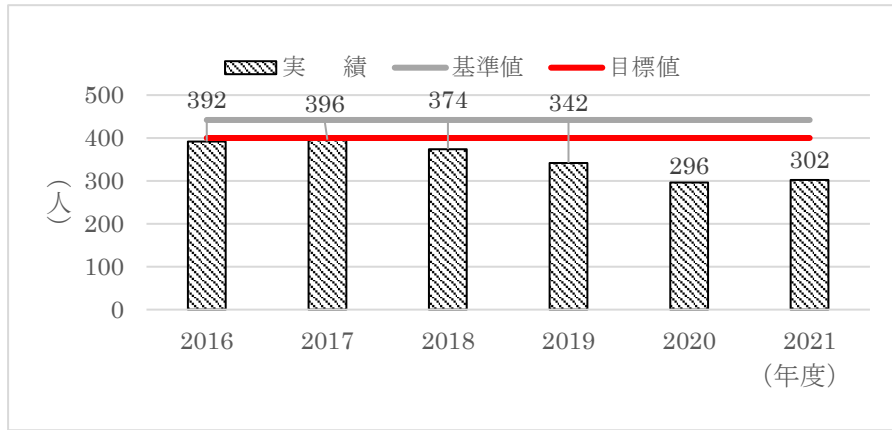
	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実 績	58,367 人	55,553 人	54,586 人	53,709 人	52,834 人	52,145 人	51,057 人



人口については、自然増減、社会増減ともに大きく減少が見られ、年間増減数では前期基本計画中の過去 6 年間で最も大きい人口減となった。

◆ 出生数（目標値：年間出生数 400 人【2025 年度目標値】）

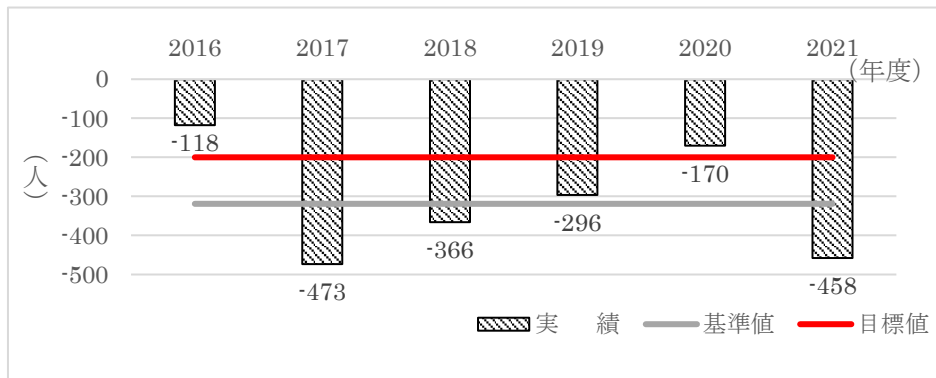
	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実績	442 人	392 人	396 人	374 人	342 人	296 人	302 人
達成率		▲625.0%	▲575.0%	▲850.0%	▲138.1%	▲247.6%	▲233.3%



出生数については、若者の減少に歯止めがかからないことがその要因の一つと考えられることから、「若者が暮らしやすいまちづくり」を中心とした施策の取組みが求められる。

◆ 社会増減数（目標値：年間社会増減数▲200 人【2025 年度目標値】）

	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実績	▲319 人	▲118 人	▲473 人	▲366 人	▲296 人	▲170 人	▲458 人
達成率		340.7%	▲261.0%	▲79.7%	39.0%	252.5%	▲235.6%



社会増減については、年度別で見ると大きく減少しており、「転勤」を理由とした転出者の増が大きい一方、「同伴」を理由とした転入者の減など、新型コロナウイルス感染拡大による内外の人の移動への影響が考えられる。

また、「就職」による転出者も増加していることから、地元企業への就職者数の増加に向けた施策が必要である。そして、地元企業の魅力化や職場環境の整備に向けた施策に引き続き取組んでいくとともに、ふるさと郷育や若者の地域活動への参画といった面からも、地元に残りたいと思える施策へ取組む必要がある。

(4) 今後の取組み

本市が抱える最重要課題の一つは「人口減少」であり、特に若い世代の減少は著しい状況にある。

人口減少は、一朝一夕に解決できない構造的な課題であり、その課題解決に向けては多岐にわたる分野の取組を結びつけ、相乗効果が発揮されるよう対策を進めることが不可欠である。また、施策を総動員し、人口減少に係る課題に対して切れ目のない取組を実施していく必要がある。

今年度からの第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の取組みでは、「若者が暮らしたいまちづくり」を目指した施策の一体的な推進を図るが、その実施にあたっては、これまでの課題の分析を基に長期的な展望を持って政策を総合的に進めていくとともに、その進捗管理を適切に行い、適宜見直しを図ることとする。